

■ 保管方法

- 短期間であれば減圧した状態で保管することは可能です。次に使用する前に空気圧を必ず確認してください。
- 本製品を完全に膨らませた状態で長期間保管しないでください。
- バルブを開いた状態でゆるやかに巻いて保管してください。
- 直射日光を避け、清潔で乾燥した場所で保管してください。剥き出しの状態や、湿った場所、コンクリート上や湿度の高い場所には絶対に保管はしないでください。

■ 廃棄方法

- 廃棄方法はお住まいの自治体の収集方法に従ってください。

■ アフターサービス

お買い求めいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。

製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます(下記限定付き)。なお、修理、交換等の要否につきましては、弊社の裁量にて判断させていただきます。

なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。

- 本製品の誤った使用方法によるもの
- 間違ったお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化
- 乱暴な取り扱いによるもの
- その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの

破損時は弊社にて診断をして、修理が可能な場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

【限定保証】

本製品は、新品でご購入いただきましたお客さまに限り、通常使用下で購入日から3年間、製造不良と思われる欠陥に対して保証します。検査の結果、保証対象とみなされた場合は、無償にて修理または交換させていただきます。ただし、本来の用途以外で使用された場合はこの限りではありません。本製品は永続的に使用できるものではないことをご理解ください。磨耗、裂傷、不適切なお手入れ、無理な使用、改造、放置された商品に対しては保証いたしませんのでご了承ください。空気室に水分が浸入し放置されると劣化が著しく進みます。空気室に残っている水分に起因する問題はすべてこの限定保証から除外されますのでご了承ください。

■ 仕様・サイズ

品番	1843091	1843092
品名	スライブ10.3	エスケープ12.6
本体容量	253L	335L
本体サイズ	約312×81×13cm (10'3"×32"×5")	約384×92×19cm (12'6"×30"×6")
適正圧力	20 psi	20 psi
主素材	塩化ビニル	塩化ビニル
最大積載量	91kg	113kg

■ その他

本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、重量などのスペックには誤差が生じる場合があります。

NRS

共通取扱説明書

NRS SUP シリーズ

NRS Stand Up Paddle Board Series

この度はお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書(以下「本説明書」といいます)は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。

特に、使用中の破損は重大な事故につながるため、使用前の点検を必ず行ってください。

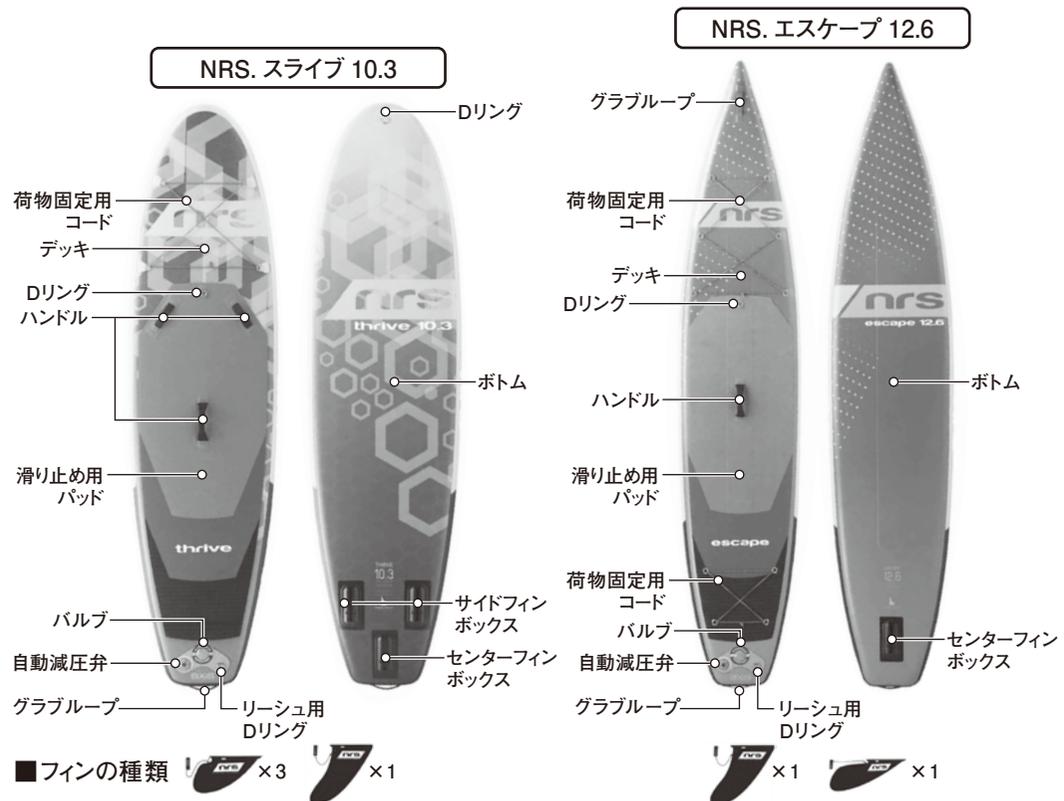
ただし、本説明書は本製品の基本的な使用方法を示すものです。安全な条件のもとで十分な練習を行い、正しい使用方法を習得してください。

なお、ご不明な点等ございましたら、販売店もしくは(株)モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。本説明書は大切に保管してください。

■ 特長

本製品は空気を入れるだけで簡単に組み立てが出来る水上用のスタンドアップパドルボード(SUP)です。空気を抜くと、コンパクトに折りたためます。

■ 各部の名称



■ フィンの種類  ×3  ×1

■ 同梱品: 収納袋、ポンプ、リペアキット *モデルにより付属品の形状や仕様が変更されることがあります。

■ 安全上の注意 必ずお読みください

保護者の方へ

- お子さまがご使用になる際は、保護者の方が本説明書をよくお読みいただき、お子さまが理解できるように説明してください。
- お子さま同士や、一人だけでの使用は絶対にしないでください。

危険 人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

- スタンドアップパドルボードは、場合によっては使用者や周囲の人を危険に陥れたり、死傷事故を誘発する可能性のあるスポーツです。本製品またはそれに係わる製品を使用する方は、傷害を負ったり、死亡する場合もあり得ることを理解しておかなければなりません。また、事故を防止するためにも、本製品を使用する前には必ず本説明書を熟読し、その指示に従ってください。
- 製品に対しての誤った取り扱い（陸上・水上）や保管方法、また経年劣化により破損を起こし、重大な事故につながる恐れがあります。
- 本製品は製品の特性上、本体に強い負担がかかるような激しい使用方法には適しません。
- 本製品は、鋭利な岩に当たり本体に強い衝撃を与えると破損します。このような行為は絶対にしないでください。
- 風が強かったり波が高いときは使用しないでください。
- 沿岸では、潮の干満や潮流のはやさも十分に考慮してください。湖、大河、沿岸等で使用する際、気象の変化により、思いもよらぬ突風、強風が吹く場合があります。人力に頼っている本製品の特性をよく理解し、無理せず安全にお使いください。
- 飲酒や心身に影響を及ぼす薬品・薬物を使用して本製品を使用しないでください。傷害を負ったり、事故の恐れがあります。
- 必ず、ライフジャケット（救命胴衣、フローティングベスト）とリーシュコードを着用してください。
- インフレーター（空気式）ボードは破損すると浮力が無くなります。万一のことを想定して必ずライフジャケット（救命胴衣、フローティングベスト）を着用してください。
- 水上で破損（バースト）した場合はSUPの浮力がなくなりSUP本体が沈みます。また、リーシュをSUP本体につないでいると水中に体が引きずり込まれるので、万一水上でバーストした際はすぐにリーシュを外してください。
- 救急処置法と救急訓練を常に心掛け、それに必要な救急箱・救急道具等を携帯してください。
- 水かさが増している時などの悪条件下では本製品を使用しないでください。
- 自分の能力以上の行動は慎んでください。
- 毎回使用前に本製品を点検し、摩耗や破損の予兆がない事を確認してください。異常がある場合は使用を中止してください。

警告 場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

- 空気が漏れている状態では絶対に使用しないでください。本来の性能が発揮できない恐れがあります。
- 本製品を使用する際に、岩などがあるところではウォータースポーツ用ヘルメット、グローブ、エルボーパッド、ニーパッド、ウォーターシューズなどの保護するものを着用してください。着用しない場合、傷害を負う恐れがあります。
- 安全な場所で操作方法を十分に練習してから使用してください。操作に不慣れだと傷害を負ったり、事故の恐れがあります。
- 再乗艇ができる服装、装備（ライフジャケットなど）を使用してください。またボード側も再乗艇ができるように荷物などを固定してください。

- 本製品は穏やかに流れている場所で使用できますが、流れが急な場所では使用しないでください。
- 水深の浅い場所では使用しないでください。フィンが破損する恐れがあります。
- 本製品はレジャー用です。救命ボートとしては使用しないでください。
- モーターボートなどでの牽引はしないでください。破損や事故の原因となります。
- 泳げない方は絶対に使用しないでください。
- しけの場合は、水流や渦の発生、障害物などの危険性が加わります。また、行ったことのないエリアでは必ず経験豊富なガイドと一緒に行動してください。
- 本製品の最大積載量を超えて使用しないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- お子さまが使用する際は、保護者の方が本説明書をよくお読みになり、お子さまが理解できるように説明し、使用方法を理解したかどうかを確認のうえ、必ず保護者の監視下でご使用ください。お子さま同士や、一人だけでの使用は絶対にしないでください。
- 本製品は水上で使用する目的で作られています。その他の目的（雪上など）では使用しないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品は一人用です。複数的人数で使用しないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品は、安全が確保された場所で使用してください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品を原動機付きの乗り物で牽引しないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品の改造はしないでください。乗艇・脱艇の妨げになるような改造・機装・積載をさけてください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品を使用する前に本製品に合わせた講習を受けてください。
- 一人でスタンドアップパドルボードを行わないでください。
- 水温・気温が低い場合は天候に合わせた服装をしてください。身体を濡らしたまま放置した場合、危険な低体温症になる恐れがあります。
- 見知らぬ場所、不確かな状況の際は事前に調査してください。
- 健康に問題のある方は、本製品の使用を始める前に医師にご相談ください。
- 本製品に荷物を積み場合は、艇の安定、操作性が損なわれない程度の量とバランスをよく考えて積んでください。静水時にデッキが水没する程積載するのは危険ですのでおやめください。

注意 人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

- 標高の高い場所に移動する前に空気を入れしないでください。過圧状態となり破損の恐れがあります。
- 各ボードの適正圧力以上に空気を入れしないでください。過圧状態となり破損の恐れがあります。
- 空気を入れる際は専用のポンプを使用してください。絶対にエアコンプレッサー、二酸化炭素ボンベ、高圧圧縮空気などは使用しないでください。
- 陸上では直射日光や火などの熱に近づけないでください。過圧状態となり破損の恐れがあります。
- 陸上で使用しない時は、少し空気を抜くか、日陰に置いてください。過圧状態となり破損の恐れがあります。
- ボードを完全に膨らませた状態で運搬しないでください。風圧で折れ曲がり過膨張や損傷につながる恐れがあります。
- ナイフ、岩などの鋭利なものや、40℃以上の熱に接触させないでください。破損の恐れがあります。
- 正しいお手入れ方法、保管方法を守ってください。
- フィンを下にして本製品を置かないでください。フィンが破損する恐れがあります。
- バッグが不用意に動く可能性のある状況（階段や電車の乗降口などの段差のあるところやエスカレーターなど）や自立しにくい状況では、横に寝かせてください。
- バッグを棚など高い場所におく場合は、落下する恐れがあります。
- バッグに腰掛けたり、乗らないでください。破損の恐れや、転倒してけがをする恐れがあります。

■ 使用前の点検

使用にあたっては、毎回必ず次のことを確かめてください。
異常が見られた場合は使用しないでください。

- 本体に傷や破れがないか バルブは機能するか
 フィンは正しく取り付けできているか 自動減圧弁は機能するか

■ 使用方法

組み立て方法

○ 同梱品の確認

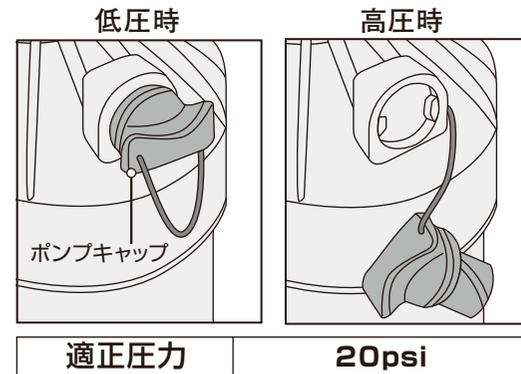
パッケージの中に同梱品が正しく入っているか確認してください。不足があった場合は販売店もしくは弊社カスタマーサービスにお問い合わせください。(P1の各部の名称を参照)

○ 空気の入れ方

空気を入れる際は、平坦で凹凸の少ない、柔らかい土や芝生の上でボードを広げます。ボードに傷を付ける可能性がありますので、岩やコンクリートは避けてください。本製品を地面の上で引きずらないでください。

- ① ポンプ本体のOUTに付属のホースを接続して組み立てます。空気が漏れないように確実に接続してください。
- ② ボードのバルブの蓋を開き、バルブ中央の軸を押し込みながら左右どちらかに回してバルブ中央の軸を上げます。バルブにホースのノズルを挿して、時計回りに回して固定します。
- ③ ポンプを動かし、指定の適正圧力になるまで空気を入れます。付属のポンプはキャップの有無で動作を変更できます。
低圧時：キャップを取り付けることで押しでも引いても空気が入ります。
高圧時：キャップを取り外すことで押した時だけ空気が入ります。
- ④ 自動減圧弁が少量の空気を排出するまで加圧します。空気が入ったらバルブの蓋を開けてください。

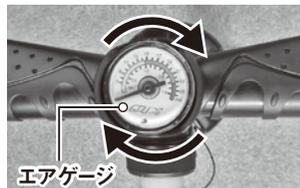
※ポンプ本体のホースの差し込み口は2カ所あります(OUT：空気を入れる、IN：空気を抜く)。



⚠ 注意

- 適正圧力は、大人が使用する場合の数値です。体重が重い人が使用する際は、この上限値近くまで空気を入れる必要があります。
- 空気を入れすぎると、修理ができないような損傷を与えることがあります。本製品は自動減圧弁が搭載されていますが、絶対に適正を超える圧力を入れないようご注意ください。
- ポンプのパッキングが正しく装着されていないと、適正な圧力がかからず空気が漏れる場合があります。
- ポンプのエアゲージ(空気圧計)が緩んでいると、適正な圧力がかからず空気が漏れる場合があります。その際は右図の方向にエアゲージを締めてください。

※右図のポンプと付属のポンプは形状が異なります。



バルブの操作方法



空気を入れる時
バルブ中央の軸を時計回りに押し込みながら、軸を上げます。



空気を抜く時
バルブ中央の軸を反時計回りに押し込みながら、軸を下げます。

⚠ 注意

- 空気が少ないと本体が適切に膨らまないだけでなく、本体の剛性が落ち、漕行するのに危険な状態になります。
- 空気を入れすぎると太陽光などでさらに空気が膨張しバースト(破裂)することがあります。
- 気温の高い時や直射日光の強い季節の休憩時は、日陰に置いたり、水に浮かべるなどして、膨張しすぎないように注意してください。
- インフレーターの本製品は、時間の経過や温度変化により徐々に膨らんだり、空気が抜けることがあるため、空気圧が適切であることを使用前に必ず確認してください。必要に応じて空気を抜き入れます。
- バルブ内に砂やゴミがある場合は取り除いてから空気を入れてください。
- バルブの蓋は必ず閉めて使用してください。蓋を開けたまま使用するとバルブ内に水や砂などの異物が入りバルブの機能を低下させる原因になります。
- 付属のバルブレンチをバルブに取り付け、バルブ本体が絞まっているか必ず確認してください。
- 本製品は加圧状態を防ぐための自動減圧弁が搭載されています。ボードに適正を超える過剰な圧力がかかるとボードが破損する恐れがあるため、バルブが自動的に圧力を開放します。(多少の誤差があることをご理解ください。)
- 電動ポンプの種類によっては、正常に作動しない場合があります。
- 電動ポンプの種類によっては、低圧用ポンプからすぐに高圧用ポンプに切り替わることがあります。その際は、まずボードのバルブの逆止弁を開放して空気を入れ、ある程度膨らんだところでバルブの逆止弁を閉じ、再度ノズルアダプターを取り付けてスイッチを入れてください。



バルブレンチ

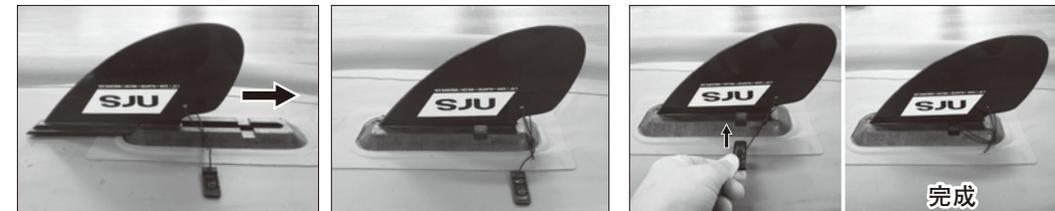


自動減圧弁

○ フィンの選び方

フィンの長さが長くなると直進性が良くなります。水深が浅いと破損するため、水深のある場所で使用してください。フィンが短くなると直進性が低くなりますが、回転性が高くなります。水深のない場所で使用してください。

○ フィンの取り付け方法 ※使用する際は必ずフィンを取り付けてください。



- ① フィンボックスの溝にフィンを入れます。
- ② スライドさせ一番奥まで押し込みます。
- ③ 図のようにレバーを差し込みます。

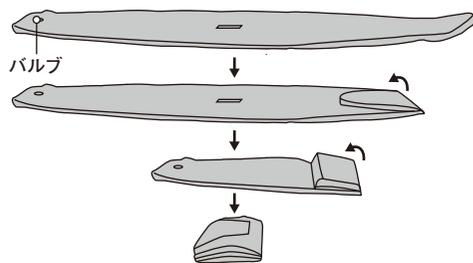
※使用前、使用中は、フィンがボードに確実に装着されていることを確認してください。

※フィンを使用しない際は、必ず付属のフィンボックスカバーを挿入してください。

※フィンの形状はモデルによって異なります。

○ボードの収納方法

バルブを開け(前項の「空気を抜く時」参照)、ボード内の空気を押し出すように空気を抜きながら折り畳んで収納袋に収納します。



■ 生地 of 修理方法

※付属のリペアキット以外の修理用品はお客様までご用意ください。

○作業スペースと修理道具

- ①清潔で乾燥しており、換気の良い所で修理してください。接着剤の適切な硬化を促すため、気温が10度以上になるようにしてください。なお、本製品を膨らませて置けるだけの十分なスペースが必要となります。
- ②リペアキットの同梱品：PVCパッチ(製品に応じて同梱) ※接着剤は付属していません。
- ③修理の際に必要なもの(修理内容により異なります、お客様までご用意ください。)塩化ビニール用接着剤、よく切れるはさみかナイフ、食器洗い用洗剤、水、小さめのポウルかスプレーボトル、やすり#120、消毒用アルコール、ペン、小さいブラシか使い捨てのペイント用ブラシ、きれいで乾燥した布

○漏れの見つけ方

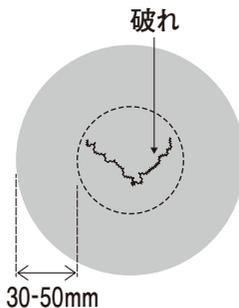
- ①本体に空気を入れます。
- ②食器洗い用洗剤を溶かしたせっけん水(洗剤50%、水50%)を本体にスポンジ等で塗布するか、スプレーボトルに入れて噴きかけ、泡ができる(空気漏れの)箇所を見つけます。
- ③空気が漏れる箇所を特定できたら、その箇所を十分乾かし、印を付けておきます。

○パッチの貼り方

重要：穴あきの補修は完全に空気を抜いた状態で行い、パッチを貼った後は24時間放置して接着剤を完全に硬化させてください。

※接着剤の取扱いや各所要時間は接着剤に付属の説明書をお読みください。

- ①補修の前に完全に空気を抜きます。
- ②よく切れるはさみかナイフを使用し、パッチを補修する箇所に合うサイズに切ります。
 - a.パッチのサイズは、補修する穴のサイズから全方向に3～5cm大きく切ってください。ピンホールの場合、パッチのサイズは5cm×5cmにしてください。パッチのサイズが大きいほどしっかり補修ができます。
 - b.剥がれにくくするため、なるべくパッチの角は丸く切ってください。
- ③パッチのサイズが適切かどうか、接着剤を塗る前に補修箇所に置いて確認してください。
- ④きれいなやすり#120を使い、補修する箇所の表面とパッチの裏側(接着面)にやすりをかけます。
- ⑤消毒用アルコールときれいな布でやすりをかけた場所を拭き取り、ゴミを取り除きます。
- ⑥もう一度接着剤を塗る前にパッチを補修箇所に当て、ペンでパッチを貼る箇所に印を付けます。
- ⑦接着剤を使用します。丁寧に、かつ素早く作業をしてください。



- a.使い捨てのブラシを使い、あらかじめペンで印を付けた補修箇所全体に薄く均一に接着剤を塗り伸ばします。印を付けた箇所からはみ出さないように注意します。
 - b.使い捨てのブラシ等を使い、パッチの裏面全体に薄く均一に接着剤を塗り伸ばします。
 - c.約60秒間、接着剤を硬化させます。
 - d.ペンで付けた印を目印にして端から注意深く補修箇所にパッチを当てます。パッチと補修箇所の接着面が重なると、すぐに接着剤の硬化が進むため、慎重に行ってください。
 - e.端から注意深くパッチを貼り付け、しっかりと上から圧迫します。
 - f.パッチ全体とパッチの端の部分を上からこすり、しっかりと圧迫します。
 - g.空気を入れて使用する前に少なくとも24時間は放置し接着剤を完全に硬化させてください。
- ⑧リペアキットで対応できないほどの大きな破れなどの修理は、弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

■ お手入れ方法

間違ったお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

- 海水や汚れた水で使用した場合は、使用後にきれいな水で柔らかいスポンジやブラシ等を使い洗います。スチールたわし等は本製品が傷つきますので使用しないでください。
- 汚れが落ちない時は中性洗剤と真水で本体を洗い、しっかりすすいでください。強力な化学薬品を含む洗剤を使用しないでください。本製品が損傷する恐れがあります。
- 洗浄後は完全に乾燥するまで十分な時間を置いてから収納してください。乾燥が不十分な場合はカビが発生する恐れがあります。
- 長期間太陽光にさらすと本製品が紫外線により劣化する恐れがあります。定期的に紫外線劣化予防剤を塗布することをお勧めします。
- ボード内を湿気がこもった状態のままにしないでください。フィールドでの修理や雨天時にバルブを開けるとボード内に湿気が残ります。長期間内部に水分が残ると、カビや劣化の原因となります。
- ボード内に水分が入った場合は、ポンプで空気を入れて抜く作業を繰り返し、乾燥させてください。

【バルブのお手入れ】

バルブに気密性がなくなった場合は、バルブに汚れや砂が付着している場合があります。気密性を維持するために、バルブを清掃してください。

- ①清掃したいバルブの気室を収縮させます。
 - ②バルブのゴム製のパッキンや蓋の内側の汚れを綿棒等で取り除きます。市販のゴム用保護剤をパッキンに塗布します。
- バルブを取り外す場合(上記でも気密性が回復しない時)
- ①バルブレンチを使ってバルブの外側のパーツを取り外します。この作業は本体がある程度膨らんだ状態の方が簡単にできます。(外側のパーツを外した後は、内側に残るパーツを失くさないようにしてください。)
 - ②バルブの中央の軸を反時計回りに押し下げて、綿棒などで付着した泥などの汚れを取り除きます。
 - ③汚れを取り除いた後、外側のパーツを再度取り付け、本体の空気を一旦入れます。フロアに関しては、取り付けの際に内部の繊維がネジやバルブに挟まらないように注意してください。
 - ④最後にバルブレンチを使ってバルブを締め込んでください。

【自動減圧弁のお手入れ】

長時間適正圧力が保てず空気が漏れる場合は、自動減圧弁のお手入れをしてください。

- ①ボードがある程度膨らんだ状態で、バルブレンチで自動減圧弁を反時計回りに回しゆるめます。
- ②ボードの空気を抜き、バルブレンチを使用してボードから自動減圧弁を外します。その際、ボードの内側に残るパーツを紛失しないように注意してください。
- ③清潔な水で自動減圧弁をすすぎます。
- ④自動減圧弁を手で取り付けて、一旦ボードを膨らませ、バルブレンチで自動減圧弁を締めます。取り付けの際に内部の繊維がネジやバルブに挟まらないように注意してください。